

施設向け

 Colors, Future!
 いるいるって、未来。
 川崎市

感染対策レター

令和5年7月
 第25号

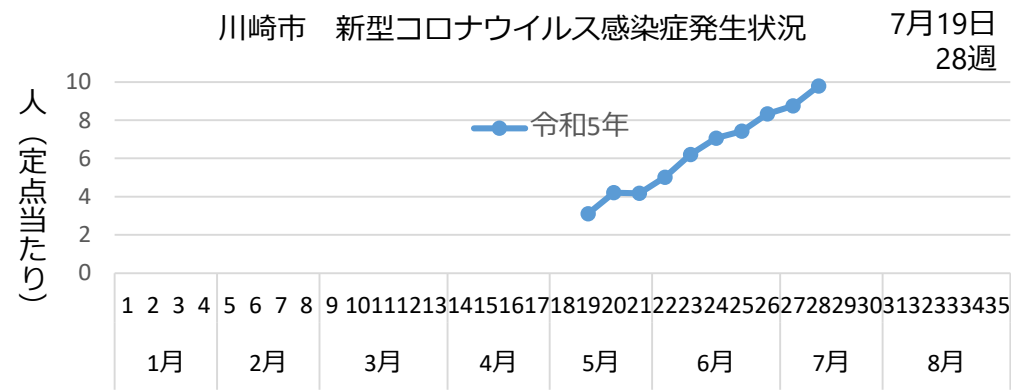
健康福祉局保健医療政策部感染症対策担当 編



オミクロン株対応2価ワクチン
 令和5年春開始接種（5月8日～8月）

新型コロナウイルス（COVID-19）流行の兆し

新規感染者が緩やかに増加傾向です。



28週でもインフルエンザの報告がありました。ヘルパンギーナは減少傾向ですが、例年より高いです。感染性胃腸炎にも注意しましょう。感染対策は、「今、何の感染症が流行しているか」知ることから始まります。流行状況によって感染対策を強化したり、緩和していくことも必要です。

感染症発生動向の把握は

以下のホームページに掲載されています。

- [川崎市：令和5年感染症週報 \(city.kawasaki.jp\)](http://city.kawasaki.jp)
- [川崎市感染症情報発信システム \(city.kawasaki.jp\)](http://city.kawasaki.jp)
- [感染症情報センター | 神奈川県衛生研究所 \(pref.kanagawa.jp\)](http://pref.kanagawa.jp)
- [新型コロナウイルス感染症に関する報道発表資料（発生状況等）2023年6月～ | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](http://mhlw.go.jp)

高齢者や基礎疾患を有する方、医療従事者・介護従事者が対象です。現行のオミクロン株対応2価ワクチンは、現在流行しているXBB系統株による重症化を予防します。

秋開始接種（9月～12月）XBB.1系統の株に対応したワクチンが予定されていますが、令和5年春開始接種の対象者は、流行が拡大する前にワクチン接種をご検討ください。

詳しくは厚生労働省のホームページをご参照ください。

[令和5年（2023年）秋以降の接種では、ワクチンの種類は変わるのですか。](http://mhlw.go.jp)
[| 新型コロナワクチンQ&A | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](http://mhlw.go.jp)

感染をゼロにすることはできないものの、施設等では集団感染をできるだけ最小限にすることが求められます。

集団感染予防策のポイント

- ・ 地域（国内外）の流行状況の把握
- ・ 日ごろからの標準予防策の実施
- ・ 入所者や通所者の感染兆候の早期発見と早期対応
 - ・ 感染兆候から疑われる感染症を考慮して対策を実施
- ・ 通所者や面会者、職員からの持ち込み防止
 - ・ 感染症（疑いを含む）を発症した職員対応の遵守
 - ・ 手指衛生と咳エチケット

日常の感染対策

- ケア前後、1ケア毎に手指衛生を行う。
 - ・ 食事介助の前後、排泄介助（オムツ交換を含む）前後、医療処置前後など。
- 手袋やガウン（エプロン）の個人防護具は利用者毎、ケア毎に交換する。
- ・手袋やビニールエプロンを外したら手指衛生を行う
 入所者、通所者の手指衛生
 - ・ 排泄後や食事前、外出後など
 - ・ 自身でできない場合は、ウェットティッシュや擦式アルコール手指消毒薬を活用し介助する

